

# 音楽と 非人間 第一回

今年度の「音楽と非人間」というコンサートシリーズは、3年間の研究プロジェクトの一環で、前近代的で非西洋的な存在論に根差した日本の哲学と美学を基にして、人間の音と非人間の音の関係を新たな視点から解釈します。

作曲家たちは自然や精神的な要素との関わりを探求し、前近代の哲学や能楽の作品からインスピレーションを得ています。自然からのインスピレーションやフィールドレコーディング、伝統楽器を用いた現代音楽が交差し、不安定な時代において音楽を創り、聴き、共有する、(そして議論する)意味のある方法を定めていきます。

## 1日目：上村洋一

2023年7月22日(土) 18時半開場 19時開演

今回は、上村が世界各地を旅しながら録音してきた音の風景を皆さまにお伝えします。日本国内であれば、北海道知床オホーツク海の流水の音、海外ではアイスランドの氷河地帯の音、地球温暖化で減少している氷たちの音、フィンランドの太古氷河の痕跡を持つ岩の教会の音や、フィンランド北部ラップランドの凍った川、スイスのヴァルスにあるピーター・ズントー設計の温泉建築 Therme Vals などです。

## 2日目：五島(アーキペラゴ)

2023年7月23日(日) 15時半開場 16時開演

演奏者 八坂公洋(ピアノ)、ゼミソン・ダリル(作曲・電子)

現在カナダ・モントリオール在住のピアニストである八坂公洋氏と、カナダ出身で九州在住の作曲家ゼミソン・ダリル氏による五島のサウンドスケープとピアノ演奏会です。五島は世界遺産に指定されており、独自の文化があります。遣唐使(空海を含む)の出発地であり、縄文遺跡を含む深い歴史、五島列島の独特な自然の音や、特に、隠れキリシタンの「オラショ」など音楽的に見ても興味深い場所です。このコンサートは、1年間五島で録られた音源・映像をもとに、ピアノとオーディオとビデオのための没入型新作「五島(アーキペラゴ)」の初演です。

アフタートーク：上村洋一、八坂公洋、ゼミソン・ダリル、城一裕

## 会場

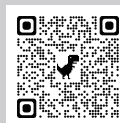
九州大学大橋キャンパス  
音響特殊棟 録音スタジオ

## 入場料

1日券 2,200円(一般)  
1,100円(学生及び九大教職員)  
2日券(10枚限定)  
3,300円(一般)  
1,650円(学生及び九大教職員)

チケット URL は peatix でのみ販売します。  
(当日券の販売はありません。)

<https://nonhumanmusic1.peatix.com/>



後援



カナダ大使館

九州大学



大学院芸術工学研究院  
大学院芸術工学府  
芸術工学部

本研究は JSPS 科研費 23K00215 の助成を受けたものです

# 音楽と非人間 第二回

## Profile of Players



### 上村 洋一 / KAMIMURA Yoichi

視覚や聴覚から風景を知覚する方法を探り、フィールドレコーディングによる環境音と、ドローイング、テキスト、光など視覚的な要素と組み合わせたサウンド・インスタレーションや、絵画作品、映像、パフォーマンス、電子音響作品などを制作し国内外で発表している。フィールドレコーディングを「瞑想的な狩猟」と名付け、その行為を通して、人間と自然との内的で精神的な繋がりを探求し、近年は、地球温暖化で減少を

続けている北海道知床のオホーツク海の流水のリサーチや、フィンランドの太古氷河の痕跡、アイスランドの氷河などのリサーチを元に制作をしている。8月にブラジル・アマゾンのレジデンス・プログラム LABVERDE に参加予定。



### 八坂 公洋 / YASAKA Kimihiro

長崎県佐世保市出身。カナダ・モントリオールを拠点に活動しているピアニスト。12歳から本格的なピアノの指導を水谷玲子氏に受ける。長崎大学入学後、カナダの名門マギル大学に編入、ピアノ科で学部と大学院共に橋本京子教授に師事。在学中、「若く優れたピアニスト」とニューブランズウィックでのソロリサイタルの際、音楽雑誌等で報じられた。優秀な成績が認められ、ジェフリー・キャンベル奨学金、ルブカ・コレッサ・アワード、エレンバロン奨学金、そしてヤマハカナダ奨学金を受賞。2014年イタリアで行われた IBLA GRAND PRIZE にて入賞。国内外のマスタークラス / フェスティバルに多数参加し、ギルバート・カリッシュ、ラン・ラン、アンドレ・ラブラント、アンドレアス・ハエフリガー、フィリップ・モル、マキシム・ベンゲロフ、ホカン・ハルデン

ベルガーなどに指導を受ける。これまでに日本、カナダ、アメリカ、イタリアそしてスコットランドで演奏しており、バロックから近現代まで幅広くレパートリーがあるが、特に近現代の曲に力を入れており、演奏は国営ラジオカナダなどに取り上げられている。これまで数々の初演をし、その楽曲はハワイ出版やジェラルド・ビヨード出版、バベル出版ミュージック・フィンランド、カナディアン・ミュージック・センターなどから出版されている。ISME World Conference, Chosen Vale, Arkas, Acces Asie などのフェスティバルや名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学、九州大学、香港中文大学、ゲーテ・インスティテュートなどの教育機関、並びにカナダ政府、日本総領事館などの行政機関にもゲストアーティストとして招待されている。また、現代音楽のスペシャリスト達

からも信頼が厚く、井上郷子 (pf) や Duo Airs などと共演している。近年ではレコーディングアーティストとしても活動しており、1st アルバム「和のかたち」2nd アルバム「モザイク」を日本アコースティックレコードより発売。「和のかたち」はレコード芸術で準特選になった。グラミー賞受賞歴のあるサウンドエンジニア Richard King のプロジェクトの一環でレコーディングを行い、Focal Press/Routledge から出版されている "Orchestra Recording and Other Classical Music Ensembles." にショパンの Op.9 No.2 の録音が使われている。2021年にゲーテ・インスティテュートとノリエントの世界の音楽事情を提供するポッドキャストシリーズ「TIMEZONES」にてモントリオールで活躍する若手現代音楽家の1人としてフィーチャーされる。



### ゼミソン・ダリル / Jamieson Daryl

1980年、カナダのハリファックス生まれ。オンタリオ州ウォータールーにあるウィルフリッド・ローリエ大のグレン・ビューア氏、リング・ケイトリン・スミス氏のもとで最初の音楽的訓練を受けた。その後渡米、ギルドホール音楽演劇学校でダイアナ・パレル氏に師事(修士号)、ヨーク大ではニコラ・レファニュ氏のもとで研鑽を積む(博士号)。文部科学省の奨学生として来日後、東京藝術大学の近藤譲氏に作曲などを学んだ。令和2年度から九州大学芸術工学部で助教。第3回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。ゼミソンの作品は時空間に対する鋭い感覚に支えられている。能や日本の伝統音楽(特に箏)、また日本の詩歌から強い影響を受けており、現在は音楽的時間と歌枕の心理・地理学に深い興味を持っている。代表的な作品に「ヴァニタス・シリーズ」三部作がある。モノオペラ「松虫」(2014年)、音楽演劇「フォーリングス」

(2016年)、和楽器五重奏のための「憂きこと聞かぬところありや」(2017年)がある。他に主要な作品としては、3つの弦楽器四重奏曲「埋木」「warm stones」「monkish fires」、舞踏家・大野一雄氏に献呈された声・琵琶・笙のための三重奏「スベクトル」、二つの大規模な室内楽作品「crystal grapeshot bouquet」及び「con tu sueño en mi sueño」、尺八による協奏曲「鎖されし闇」、短編映画「Goodbye My Son」のサウンドトラック、また声楽と箏のための作品「古代女神に扮した私」などがある。近年ではフィールド・レコーディングへの関心を強めており、2016年にはフィールド・レコーディングとパーカッションのための作品「muons」を作曲。彼の作品はボツツィーニ弦楽四重奏団や Musiques Nouvelles、Orchestre National de Lorraine、アンサンブル室町、ピアニストの井上郷子氏、琵琶の上田純子氏、箏の吉澤延隆氏やマクイー

ン時田・深山氏、アルノルト・シェーンベルク室内楽団、ヨーク大学室内楽団などによって幅広く演奏されている。ゼミソンは現在、ミュージック・シアター「工房・寂」のアーティストック・ディレクターを務めている。東京を拠点とした国際的な作曲家集団 Music Without Borders の設立メンバー、また同時に世界中の若手作曲家の作品を、日本の聴衆に届けることを目指して活動するトリオである mmm... の共同設立者・招聘作曲家でもある。日本の伝統的な楽器のために作品を提供し続けている邦楽 2010 および日本現代音楽協会所属。研究活動も並行して活発に行っており、京都学派の美学、現代音楽と精神性に関する論文を執筆中。2018年、第3回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。カナダカウンシル、文部科学省、ヨーク大学などからの受賞、助成多数。

#### アクセス

西鉄福岡(天神)駅  
→西鉄天神大牟田線大橋駅東口  
(電車5分+徒歩5分)  
JR博多駅  
・バス [47, 48, 48-1, 48-2, 60] 大橋駅下車  
(バス20分+徒歩5分)  
・市営地下鉄天神駅下車→西鉄天神大牟田線乗換  
福岡国際空港  
市営地下鉄天神駅下車→西鉄天神大牟田線乗換  
(地下鉄11分+徒歩5分)



後援



九州大学



大学院芸術工学研究院  
大学院芸術工学府  
芸術工学部

本研究は JSPS 科研費 23K00215 の助成を受けたものです